



製品の環境対応

製品含有化学物質の管理・抑制

化学物質は、適切に使用・管理されないと環境に重大な影響を与える可能性があります。OKIグループは環境への影響を考慮し、製品に含有される化学物質の管理・抑制に取り組んでいます。

製品含有化学物質管理基準

製品に含有される化学物質の中で人の健康や環境への影響が大きい物質を禁止、抑制、自主管理物質に区分し、RoHS指令対象6物質を含めた総合的な管理を実施しています。

●製品含有化学物質の管理基準

区分	禁止物質群	抑制物質群	自主管理物質
物質数	41	9	435
特定の基準	<ul style="list-style-type: none"> ●法規制で製造、使用禁止の物質群 ●OKIで指定する禁止物質群 	<ul style="list-style-type: none"> ●人の健康や環境へ将来悪影響を及ぼす可能性がある物質 	<ul style="list-style-type: none"> ●PRTR対象物質

グリーン調達調査

国際的なガイドラインであるジョイント・インダストリー・ガイドライン (JIG) およびグリーン調達調査共通化協議会 (JGPSSI) の調査回答ツールVer3に準拠したOKIの「グリーン調達基準書」を制定し、運用しています。お取引先の企業体制や環境保全への取り組みおよび納入品に含まれる化学物質の調査を実施しています。OKIの「グリーン調達基準書」には、情報通信機器部門などが購入する電子部品・機械部品に適用する基準書と、電子デバイス部門が購入する材料などに適用する基準書があります。基準書は、ホームページで公開しています。

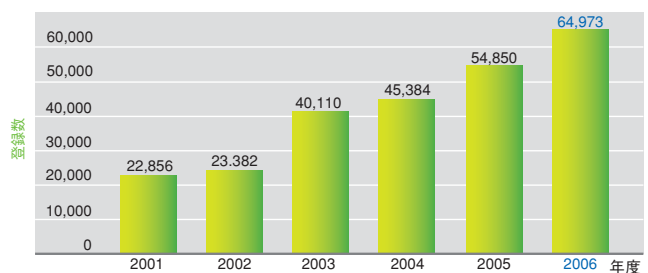


<http://www.oki.com/jp/eco/>

部品の含有化学物質情報データベース

購入部品・材料に含有される化学物質のデータは、部品情報データベースに登録されています。2006年度のデータベース登録数累計は、2005年度から18%増加し約65,000件となりました。今後も、部品情報データベースの充実を図ります。

●部品情報データベース登録数累計



製品含有化学物質情報システム

製品含有化学物質情報システム「COSMOS」を開発し、OKIグループ全体の共通システムとして運用しています。本システムの活用により、「グリーン調達調査結果のグループ内共有化」、「含有化学物質集計の効率化」が図られ、お客様からの調査に対し迅速に対応することが可能になっています。製品の環境負荷を総合的に評価するツールとして、今後さらに充実を図ります。

●グリーン調達の化学物質調査フローと製品含有化学物質情報システム

